

フェロー候補者推薦の公募

当学会では、平成 24 年度にフェロー会員制度を発足させ、これまでに 158 名のフェローを認定いたしました。フェロー会員制度の目的は、航空宇宙工学と社会および本会の発展に顕著な貢献をなし、現在も活躍中の正会員に日本航空宇宙学会フェローの称号を授与することで、本会会員の地位を向上させ、国際活動をより円滑にし、更には本会のより一層の活性化を図ることです。今年度も新規の推薦を受け、来年度の認定へ向けて作業を開始いたしました。

フェローの称号は推薦された正会員のうちから選考および認定を経て授与されるものとしており、その推薦方法は内規により、正会員からのご推薦をされる場合は、フェロー 2 名以上を含む 3 名の推薦者が必要であり、候補者と異なる機関の推薦者を 1 名以上加えることが規定されています。その後、フェロー選考委員会が被推薦者の中からフェロー候補者を選考し、そのフェロー候補者の選考報告をもとに理事会においてフェローを認定します。新規に認定された方へは、毎年 4 月開催の定時社員総会においてフェロー認定証を交付する予定です。なおフェローに認定された場合、本会へ寄付をお願いする予定ですが、フェロー本人の申し出によりフェローの称号を返上することができるものとしております。

フェローの称号を受ける資格としては、会員歴 15 年以上で、これまでに航空宇宙工学分野と社会および本会の発展に顕著な貢献をなされ、現在も活躍中の 45 歳以上の正会員とし、年齢の上限は特に設けておりません。

フェロー選考にあたって考慮に入れる事例は以下のとおりであり、2 項目以上に該当する被推薦者あるいは第 (2) 項で特に顕著な実績をあげた被推薦者のなかからフェロー候補者を選考します。

- (1) 日本航空宇宙学会論文賞あるいは技術賞の受賞実績（奨励賞は参考とします。）
- (2) 本会の役員、支部長、部門委員長を務めた経験（評議員、代議員、支部幹事等の地方支部各種委員は参考とします。）
- (3) 本会主催国際会議の組織委員長あるいは本会共催国際会議の日本開催時の組織委員長を務めた経験がある。
- (4) 国際的な学術団体等で著名な賞、称号を受けている。
- (5) 技術・製品開発あるいは発明で社会的に評価が高い。
- (6) 論文、著作、出版物で社会的に評価が高い。
- (7) 多大な功績を社会あるいは本会の発展に成した。
- (8) その他（(1)～(7) 以外について特記すべき事項がある。）

ご推薦にあたっては、上記 (1)～(8) の 2 項目以上に該当する方、あるいは第 (2) 項で特に顕著な実績をあげた方をご推薦くださるようお願いいたします。推薦される方がおられる場合は、学会ホームページに掲載された推薦書用紙を用いて、10 月末日迄に当学会事務局宛に送付くださいますようお願いいたします。

なお、推薦いただいた方のなかから候補者を選考しますので、最終決定は必ずしもご推薦どおりにならないことがありますので、ご了承のほどお願いいたします。従いまして、被推薦者の内諾をとっていただく必要はございません。また本推薦制度は毎年行う予定としております。ご参考までに、フェロー認定証授与者一覧を同封いたします。

フェロー候補者推薦書（学会員 記載例）

1. フェロー候補者

補者 氏名	(ふりがな) (漢字) こうくう たろう 航空 太郎	生年月日（西暦） 〇〇〇〇年△月◇日（□歳）
現職	所属・役職 〇〇大学 △△学部 教授	
連絡先（住所、電話番号、E-mail） 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-1-2 1 近三ビルディング4階 電話 03-6262-5313 E-mail : jsass@jsass.or.jp		

2. フェロー候補資格確認

以下のフェロー候補資格（フェロー制度に関する内規 第2条）を満たしていることをご確認の上、下記のフェロー候補資格確認の口にチェックをいれて下さい。

フェロー候補者は会員歴 15 年以上で、これまでに航空宇宙工学分野と社会および本会の発展に顕著な貢献をなされ、現在も活躍中の 45 歳以上の正会員である。	確認 <input checked="" type="checkbox"/>
---	---

3. 選考にあたって考慮に入れる事例該当確認

選考にあたって考慮に入れる事例（フェロー選考委員会および選考方法に関する内規 第4条）には以下の（1）～（8）がございます。該当される項目全てにチェックを入れ、次ページの推薦理由欄に詳細な内容を具体的且つ客観的に判断できるようにご記入をお願い致します。

(1)	日本航空宇宙学会論文賞あるいは技術賞の受賞実績（奨励賞は参考とします。）	<input checked="" type="checkbox"/>
(2)	本会の役員、支部長、部門委員長を務めた経験（評議員、代議員、支部幹事等の地方支部各種委員は参考とします。）	<input checked="" type="checkbox"/>
(3)	本会主催国際会議の組織委員長あるいは本会共催国際会議の日本開催時の組織委員長を務めた経験がある。	<input checked="" type="checkbox"/>
(4)	国際的な学術団体等で著名な賞、称号を受けている。	<input checked="" type="checkbox"/>
(5)	技術・製品開発あるいは発明で社会的に評価が高い。	<input checked="" type="checkbox"/>
(6)	論文、著作、出版物で社会的に評価が高い。	<input checked="" type="checkbox"/>
(7)	多大な功績を社会あるいは本会の発展に成した。	<input checked="" type="checkbox"/>
(8)	その他（（1）～（7）以外について特記すべき事項がある。）	<input type="checkbox"/>

※なお、候補者は（1）～（8）のうち2項目以上に該当する、あるいは（2）で特に顕著な実績をあげた被推薦者のなかから選考いたします。

4. 推薦者及び推薦理由

推薦者氏名	所属・役職	フェロー称号有無
代表者 ○○○○ 印	○○大学○○学部・教授	有
△△△△ 印	△△大学△△学部・教授	有
□□□□ 印	□□研究所・主幹研究員	無

推薦理由

前ページ(1)～(8)のうち該当される全て項目について具体的且つ客観的にご記入下さい。

(1) 日本航空宇宙学会論文賞あるいは技術賞の受賞実績がある(奨励賞は参考とする)

候補者は○○年に日本航空宇宙学会論文賞を受賞した。

- ・○○年に技術賞(基礎技術部門)を受賞した。

(2) 本会の役員、支部長、部門委員長を務めた経験がある(評議員、代議員、支部幹事等の地方支部各種委員は参考とする)

候補者は○○年に△△支部で支部長を務め、・・・の活動に取り組み△△支部の活性化に貢献した。

- ・○○年△△部門の部門委員長を務め、・・・を企画し△△部門の発展に貢献した。
- ・○○年△△担当理事を務め、◇◇に従事している。

(3) 本会主催国際会議の組織委員長あるいは本会共催国際会議の日本開催時の組織委員長を務めた経験があること

候補者は○○年に開催された△△国際会議の組織委員長を務め、◇◇を企画するなどして当該会議の成功に貢献した。

(4) 国際的な学術団体等で著名な賞、称号を受けていること

候補者は○○年に○○主催の○○国際会議で「○○に関する研究」で優秀講演表彰を受賞した。

- ・○○年に△△学会で◇◇の称号を得た。

(5) 社会的に評価の高い技術・製品開発あるいは発明があること

候補者は○○年に△△を発明し、当該技術が・・・に適用されるなどして広く社会に貢献している。また、発明に関する主要特許及び関連特許は以下の通りで、合計○○件となっている。

(主要特許) ○○○○○○○○○○○○○○○○○

(関連特許) △△△△△△△△△△△△△△

(6) 社会的に評価の高い論文、著作、出版物があること

候補者が○○年に執筆した論文「△△△・・・」は、◇◇◇のメカニズムを明らかにしたものとして注目を集め、被引用数は○○件で、・・・分野の研究活性化に貢献した。当該研究は国際的に注目を集め、国際会議等で○○件の招待講演を実施した(招待講演リスト等記載)

(7) 社会あるいは本会の発展に多大な功績があること

候補者は、○○に関する研究に長年に渡り従事しており、当該分野において国内外を問わず非常に高い評価を得ている。その研究成果は、△△技術として実用化され、社会一般に広く知られ、我々の生活に役立っている。また、候補者は、◇◇部門において、△△研究会を○○年にわたり継続的に主催しており、当該分野の学術の発展のみならず、研究会を通じた人材育成も積極的に行っている。

(8) その他(上記(1)～(7)以外で特記すべきこと)

記載上の注意: 本推薦書の記載はすべて推薦代表者の責任において行って下さい。

提出締切及び送付先

締切：2019年10月31日 日本航空宇宙学会 学会事務局必着

送付先：〒103-0022

東京都中央区日本橋室町4-1-21 近三ビルディング4階

一般社団法人 日本航空宇宙学会

TEL：03-6262-5313、FAX：03-6262-5314

E-mail：kai.takashi@jsass.or.jp